



発行 社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内 TEL 54-4540 FAX 51-1880

ホームページ <http://www.owariasahishakyo.jp/> 社協だよりやその他の社協情報はホームページでもご覧いただけます。令和三年
迎春

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。日頃から、本会並びに各地域福祉活動団体の催しにご協力、ご参加いただきありがとうございます。おかげをもちまして、本会は、昭和27年に「旭町社会福祉協議会」として誕生し、昭和45年10月に地域福祉の推進を掲げて社会福祉法人格を取得してから、本年度で50周年を迎えることができました。本会が、この地域の社会福祉推進の中核を担う法人として様々な地域福祉事業を展開し続けることができたのも、地域の皆さんをはじめ本会に関わるすべての皆さんのご支援、ご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

その一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、本会の活動は大きな打撃を受け、通常業務も満足にできない状況が続いています。2月には第50回の節目となる社会福祉大会の開催を予定していますが、大会規模の縮小を余儀なくされました。ただでさえ地域における「支え合い」の低下や「つながり」の希薄化が指摘される中、新型コロナウイルス感染症は、人と人との接触機会を避けるためイベントなどの人の集まりを妨げるばかりか、様々な差別や偏見を生み、本会が中心になって進めなければならない「地域共生社会の実現」に最も必要な「支え合いやつながり」をも阻むものであり、まさに、未曾有の危機に直面していると言っても過言ではありません。そのような「今」だからこそ、つながり続けることの大切さを再認識し、多様化・複雑化する地域福祉の課題に対し、地域住民の皆さんの優しさや思いやりとともに向き合っていかなければならないと考えております。そのためにも、私の想う地域の絆づくりの基本であり、また、地域福祉活動の第一歩でもある「あいさつや声かけ」を、改めて日常生活の中で心がけていただき、地域の絆を途切れさせぬようお願いいたします。

今後も地域の皆さんのお力添えをいただきながら、地域福祉の推進のため、役職員一同全力で取り組むとともに、「みんなで支え合う しあわせのまち 尾張旭」の実現に向けて努力してまいりますので、変わらずのご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、一刻も早い新型コロナウイルス感染症の収束と、地域の皆さんのご健康と安全を祈念して、年始の挨拶といたします。

尾張旭市社会福祉協議会
会長 森 修

contents (主な項目)

- 第50回尾張旭市社会福祉大会の規模縮小について
- 令和2年度会員加入のお礼
- 会員の皆さんへお得な情報
- あさひ生活応援サポーター養成講座
- ボランティアセンターからのお知らせ
- 地域福祉活動計画を策定しています
- 知るサポだよりNo.23
- ジュニアリーダーズクラブの紹介
- フードドライブ事業
- 寄付者一覧

第50回尾張旭市社会福祉大会の規模縮小について

例年、2月上旬に開催しています尾張旭市社会福祉大会につきまして、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、大会の規模を縮小して講演を中止し、式典のみ開催することといたしました。それに伴い、大会の参加者を表彰・感謝受賞代表者のみと限定させていただきます。

参加を予定されていた皆さんや、ご検討をされていた皆さんに参加をご遠慮願うことは、主催者として大変残念に思いますが、何卒、事情をお汲み取りいただき、大会の規模縮小及び参加制限にご理解くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和2年度会員加入のお礼

今年度は右表のとおり、一般2,349件、法人93件、合わせて2,442件の皆さんが、本会会員に加入し、総額3,282,000円の会費を納めていただきました。

会員の皆さんにおかれましては、本会の活動にご賛同いただき誠にありがとうございました。

この会費は、本会が行う、サロン活動助成やボランティア団体への支援、児童・生徒の福祉実践教室の開催など、本会の福祉活動を推進

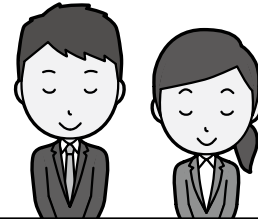
するために使わせていただきます。

また、会費の取りまとめにご協力いただきました関係団体の皆さんにも深くお礼申し上げます。

なお、会員募集事業につきましては、本会窓口や市役所福祉課窓口などで年間を通じて行っておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。

今後とも本会の事業活動にご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

ありがとうございました



| | |
|--------|------------|
| ■ 一般会員 | |
| 2,349件 | 2,828,000円 |
| ■ 法人会員 | |
| 93件 | 454,000円 |
| ■ 合計 | |
| 2,442件 | 3,282,000円 |

(令和2年12月10日現在)

会員の皆さんへお得な情報

本会では、会員の皆さんを対象に、車いす及び車いす専用車を無償でお貸ししていますので、お気軽にご利用ください。

○車いす

歩行が不自由なかななどを対象に貸出を行っています。窓口での手続きにより、その場で貸出が可能です。ただし、入院中または入所中のかたは除きます。なお、貸出期間は最長3か月です。

3か月を超えて車いすの利用を希望されるかたは、窓口での手続きにより更新が可能です。在宅介護などで車いすが必要な際は、ぜひご利用ください。

目的に合わせて、2種類(自走式または介助式)の車いすからお選びいただけます。ただし、車いすの数に限りがありますので、お貸しできない場合があります。予約制ではあ

りませんのでご注意ください。

また、すでに車いすを3か月以上借りているかたで、更新や返却がお済みでない場合は窓口にて手続きをお願いします。



▶ 自走式車いす



◀ 介助式車いす

○車いす専用車

車いすを利用されているかたのために、車いすに乗ったまま乗車することができる車いす専用車をお貸しします。貸出期間は原則として1週間につき1回、3日以内です。

ただし、車いす専用車は車いすに乗ったまま運転することはできません。また、燃料費(ガソリン代)・通行費・駐車料などの費用は利用者負担となりますのでご注意ください。



▲ 車いす専用車

あなたの「思いやり」で尾張旭市を「人にやさしい地域」に

あさひ生活応援サポーター養成講座

住民同士の“たすけあい”で、高齢のかたのちょっとした困りごとをお助けする「生活応援サポーター」。あなたも生活応援サポーターとして活動してみませんか。

第10回

あさひ生活応援サポーター養成講座を開催しました

10月8日(木)・15日(木)・22日(木)の3日間、第10回あさひ生活応援サポーター養成講座を開催し、市内在住の9人が修了されました。



▲生活応援サポーターによる活動発表

講師には、南医療生活協同組合副理事長松下繁行氏をはじめ、専門職のかたや、すでに活躍されている生活応援サポーターをお招きしました。

内容は盛りだくさんで、「先輩から学ぶ生活支援の実際～“支えあい”がまちづくり?～」をテーマとした講義ではじまり、コミュニケーション方法を学ぶための演習や、介護予防のためのイキイキ体操を体験。

また、生活応援サポーターの活動発表をとおして、様々な形でできる助けあいや支えあい活動のやりがいや楽しさを知ることができました。

今後は、新たに生活応援サポーターとして、本会と一緒に「人にやさしいまちづくり」の促進を図っていただきたいと思っております。

第11回

あさひ生活応援サポーター養成講座のご案内

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

本会では、地域の高齢のかたのちょっとした困りごとをお助けする生活応援サポーターを養成するため、下表のとおり第11回の講座を開催します。どなたでも受講できますので、ぜひご参加ください。

| 開催回 | | 開催日 |
|--|-----|--|
| 内容等 | 1日目 | 【趣旨説明】 「生活支援で人にやさしいまちづくり」 |
| | 1日目 | 【講義1】 「先輩から学ぶ生活支援の実際」 ～“支えあい”がまちづくり?～ |
| | | 【DVD鑑賞】 「地域のつながりづくり」 |
| | 2日目 | 【講義2】 「生活支援の場面で求められるコミュニケーション」 ～相手も自分も心地よく～ |
| | | 【講義3】 「生活リハビリで介護予防」 ～ふだんのくらしがリハビリに～ |
| | 3日目 | 【交流会】 「私たちができる助け合いって何だろう」 ～ゲームで“たすけあい”をイメージ!～ |
| 【活動発表】 「あさひ生活応援サービスについて」 ～生活応援サポーターの活動発表～ | | |
| 申込受付期間 | | 1月27日(水)まで |

会場 保健福祉センター4階シアタールーム 開催時間 午前10時～正午

定員 先着15人 申し込み方法 社会福祉協議会へ電話または直接

※なお、生活応援サポーターの登録は任意です。

参加費
無料



【申し込み及び問い合わせ先】 生活支援コーディネーター業務担当(森島・鶴見・吉川) TEL 55-7071(直通)

ボランティアセンターからのお知らせ

利用時間 午前9時～午後5時 ※土・日曜日、祝・休日を除く TEL 51-5535 FAX 51-5543
尾張旭市渋川町三丁目5番地7 渋川福祉センター内

令和2年度 災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

災害時にボランティア活動が迅速かつ円滑に行われ、被災地の速やかな自立支援ができるように、被災地に参集する多数のボランティアと被災者からの支援要請の調整を図るのが災害ボランティアコーディネーターです。



▲災害ボランティアセンターの機能と役割についての講義

災害ボランティアコーディネーターの役割を学び、被災地へ笑顔を橋渡しできるような活動をしてみませんか。

今年度は、認定NPO法人レスキューストックヤード常務理事浦野愛氏を講師にお招きするほか、コロナ禍における災害ボランティアセンターの運営について、実際に活動されている熊本県の人吉市社会福祉協議会事務局次長速永同志子氏によるオンラインでの活動紹介をいただきます。

〈養成講座の開催日時など〉

| | |
|--------|------------------------|
| と き | 1月24日(日) 午後1時～4時 |
| と ころ | 渋川福祉センター くすのきホール |
| 内 容 | 講義・オンラインによる 活動紹介・演習 |
| 定 員 | 25人 (定員になり次第締切り) |
| 参加費 | 無 料 |
| 申し込み方法 | 社会福祉協議会に 電話または直接 |

ボランティアサロンのご案内

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

ボランティアセンターでは、ボランティア活動に興味をお持ちのかたや、すでに活動しておられるかたを対象に下表のとおり「ボランティアサロン」を毎月1回開催しています。

申し込み及び問い合わせ先

渋川ボランティアセンター

〈2月・3月・4月のボランティアサロン〉



12月 ボランティアサロン

(和紙のくすみ絵づくり～干支のミニ色紙～)
参加者からは、「新型コロナウイルス感染症の心配が続く中、少しでも早く収束してほしいとの思いを込めて作りました。」
「とても楽しかったです。」などの感想をいただきました。

| | | | |
|------|------------------------------|--------------------------|-------------------------------------|
| と き | 2月25日(木) 午前10時～正午 | 3月10日(水) 午後1時～3時 | 4月21日(水) 午後1時～3時30分 |
| と ころ | 渋川福祉センター ボランティア室 | 渋川福祉センター 研修室 | 渋川福祉センター 運動室 |
| 内 容 | 布おもちゃを作ろう ～手のひらサイズのうさぎ人形～ | 手でコミュニケーション ～手話で自己紹介～ | さあ!いっしょに出かけよう ～目の不自由なかたへのガイドヘルプ～ |
| 講 師 | ToyToy | 手話グループ 手と手の会 | 北原 祥爾さん |
| 定 員 | 10人 | 10人 | 16人 |

※定員を超えた場合は、抽選になることがあります。

令和2年度

入学者募集!!

男性のためのボランティア学校

～ボランティアはじめの一歩～

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

ボランティア活動に関心のある男性の皆さんへ。

今年度も愛知県立大学教育福祉学部准教授松宮朝氏をはじめ、市内で活躍されているボランティア団体などにご協力いただき、男性のためのボランティア学校を開催します。講師やボランティア活動者から体験談などを聞き、ボランティアとは何か、どのような活動なのか学んでみませんか。この機会にボランティア活動を始めて、あなたの人生をさらに男前に。



▲男の料理教室

時間割り

| | 日時 | 講師 | 内容 |
|-------|------------------------|---|---------------------|
| 入学式 | 2月12日(金) 午後1時30分～4時 | ・愛知県立大学教育福祉学部 准教授 松宮 朝 氏 | 今だから必要な男性の地域貢献 |
| 1 限 目 | 2月17日(水) 午後1時30分～4時 | ・点訳グループあかね会 ・要約筆記OHPひまわり | 障がいについて学びやさしい地域を考える |
| 2 限 目 | 2月24日(水) 午後1時30分～4時 | ・瑞鳳校区社会福祉推進協議会 芥田 嵩 氏 | 地域におけるみんなの居場所を考える |
| 3 限 目 | 3月4日(木) 午後1時30分～4時 | ・尾張旭市健康づくり食生活改善協議会 | 男の料理教室 |
| 4 限 目 | 3月15日(月) 午後1時30分～4時 | ・株式会社瀬戸中日サービス 中日ホームニュース 松原 秀樹 氏 | 学級新聞づくり |
| 卒業式 | 3月25日(木) 午後1時30分～4時 | ・愛知県立大学教育福祉学部 准教授 松宮 朝 氏 ・男性ボランティア活動研究会 | 今後のボランティア活動について |

○場 所 入学式・4限目は渋川福祉センターの研修室、1・2限目・卒業式は渋川福祉センターの会議室、3限目は保健福祉センターのフッキングルーム

○定 員 先着20人 ※定員になり次第締切り ○参加費 無料

○申し込み及び問い合わせ先 社会福祉協議会に電話または直接

地域福祉活動計画を策定しています

本会が策定する「地域福祉活動計画」と、尾張旭市が策定する「地域福祉計画」は、現行計画(平成28年～令和2年度)から合理的で効率的に立案するため、一体的に策定しています。

次期計画(令和3年～7年度)についても、より実効性のある活動

につなげるため、住民意識調査やボランティア団体ヒアリングを実施し、これまでの進捗状況や現状の課題等を踏まえながら、行政と連携し地域福祉活動を一層推進するため、策定作業を進めています。

なお、地域福祉活動計画と併せて策定している各校区の行動計画

である「校区別アクションプラン」については、新型コロナウイルス感染症の影響のため校区懇談会を令和3年度に延期し、令和3年度中の策定を予定しています。



知るサポだより

No.23

～尾張旭市地域包括支援センター～

TEL 55-0654(直通)

認知症サポーター養成講座を開催します



地域で暮らす多くのかたが認知症を正しく理解し、認知症のかたやその家族をあたたく見守り支え合えるまちにしていいため、認知症サポーター養成講座を開催します。講座ではDVDの視聴を交えて、認知症の症状やその対応をわかりやすく説明します。認知症になっても安心して暮らし続けることができるまちになるよう、皆様のご参加をお待ちしています。

○開催日時

1月23日(土)

午前10時～11時30分

○場所 中央公民館302会議室

○問い合わせ先

地域包括支援センター

地域包括支援センター主催の研修会を開催しました

去る9月24日、関西福祉科学大学准教授小口将典氏を講師にお招きし、「虐待をしない、させないケアマネジメント」をテーマに介護支援専門員を対象にした、研修会を開催しました。

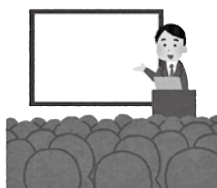
ケアマネジメント業務を行う中で、介護サービスの利用だけでは介護者の負担やストレス、不適切な介護が改善しないケースに直面することがあります。今回の研修は、不

適切な状態に気付くための視点を養い、虐待に至らせないケアマネジメント力を高めることを目的に実施しました。

講義では、介護者の孤立が虐待につながりやすいことや、相手に自分の波長を合わせることなど、介護支援専門員として常に意識して取り組むべき事柄について学ぶことができました。

参加者からは、「その人の価値観に合わせる方法を大切にしたい。」「虐待ケースと感じたら介護者の立場に立って考えてみるなど、視点を変えて対応する必要性を学んだ。」などの感想が得られました。

今後も、ケアマネジメント業務に役立つ研修を企画してまいります。



ご用心!冬の入浴『ヒートショック』とは?

入浴法を間違えると亡くなる場合もあることをご存じでしょうか。入浴中に亡くなる人数は、年間約1万9千人。交通事故死亡者数のおよそ5倍です。さらに入浴中の事故死の5割が冬に集中しており、特に注意が必要です。

《ヒートショックとは?》

急激な温度変化や寒暖差で血圧が急上昇・急降下することです。

暖かい部屋→寒い脱衣所→すぐに熱い湯に浸かるなど、ふだん行いがちな行動で、血圧が約40近くも上がる可能性があるのです。ひどい場合には、心筋梗塞や脳梗塞を起こすおそれもあります。

《ヒートショックを防ぐための入浴法6つのポイント》

①浴室・脱衣所を暖める

電気ストーブなどを置いて、暖かい居間と脱衣所の温度差を5℃以内にします。シャワーヘッドを高い位置に置いて浴槽にお湯を張ると、浴室全体が暖まります。

②できれば日没前に入浴をする

日没後は外気温が低くなり、脱衣所や浴室との温度差が開き、ヒートショックのリスクが高まります。体の機能として、温度差への適応がすぐれている時間帯は、午後2時～4時頃だといわれています。

③飲酒後や食後すぐの入浴をさける

飲酒後や食後1時間以内は血圧が下がりやすい状態なので、食後では1～3時間くらい空けてから入るようにしましょう。

④かけ湯をする

かけ湯は、手や足など心臓から遠い部分から行い、体を徐々に温め心臓の負担を少なくします。

⑤入浴の前後にコップ1杯の水を飲む

入浴の前後に水分を補給しておくことで、体内の水分不足による高血圧を防ぐことができます。

⑥湯船からはゆっくり立ち上がる

入浴時は水圧がかかり血管が収縮しています。この状態でパッと立ち上がると、水圧がなくなって血管が開いている状態になり、血液が頭にあがっていかなくなります。たちくらみや貧血を起こしやすく、転んだりすることもあるので、注意が必要です。

毎日お風呂に入ると健康的に長生きができるというデータ(65歳以

上のかたが5年後に要介護になるリスクが、1.85倍も低い)もあります。ヒートショックを防ぎ、安全にバスタイムを楽しみましょう。



認知症初期集中支援チーム にご相談ください

認知症初期集中支援チームは、平成30年4月から活動を開始し、認知症のかたの困りごと・心配ごとに対応しています。

●チーム員はどんな人たちの?

認知症サポート医4人、認知症地域支援推進員(瀬戸旭医師会)1人、市役所長寿課保健師1人、地域包括支援センター保健師1人、看護師1人、主任介護支援専門員1人、社会福祉士1人で構成されています。

●どんな支援が受けられるの?

認知症で困っているかたの自宅を訪問し、相談に応じたり、必要によって医療や介護サービスにつなげるなど、生活環境などを整えることを目的に、おおむね6か月間本人や家族に合わせたサポート・助言を包括的・集中的に行います。

●対象となる人は?

40歳以上の自宅で生活している認知症の人や認知症が疑われる人で、認知症の診断を受けていない

人や治療を中断している人、適切な医療サービスや介護サービスを受けていない人、医療サービスや介護サービスを利用していても症状が悪化して対応に悩んでいる人などが対象となります。

「自分が認知症かもしれない」という不安は大きく、家族など周囲が受診を勧めても、ご本人が頑なに拒むこともあります。早期に発見して適切な対処をすれば、その人らしい充実した暮らしを続けることができますので、まずは地域包括支援センターにご相談ください。



尾張旭市ジュニアリーダーズクラブに入りませんか?

尾張旭市ジュニアリーダーズクラブ(JLC)は、子ども会活動などを支援する中学1年生から高校3年生までのボランティア団体です。現在約20人の仲間が楽しく活動しています。

○こんな活動をしています。

研修キャンプ

キャンプの派遣に備えて、実際にキャンプを体験し、かまどやキャンプファイヤーなどの研修を行います。



会員同士の交流

他市町のジュニアリーダーとの交流会に参加することができます。もしかしたらお友達になれるかも?



定例研修会

毎月1回、派遣活動に必要な知識やゲームなどを覚えて練習します。

派遣活動

子ども会や地域の団体が開催する行事のお手伝いやゲームの進行などをします。

ひまわりサン

JLCが企画・運営する宿泊研修会です。市内の小学生を対象に開催しています。



○入会したいときは?

事務局(社会福祉協議会内)に入会届及び会員登録書を提出してください。

ただし、入会には保護者の同意が必要です。

なお、会費は年額1,000円です。随時受け付けていますのでお気軽にお問い合わせください。

申し込み及び問い合わせ先

社会福祉協議会

『ひまわりサン』参加者募集!!

とき: 3月13日(土) 午前9時~午後5時

ところ: 愛知県森林公園

対象者: 市内在住または在学の小学5・6年生

定員: 15人 内容: ジュニアリーダーとのレクリエーションなど

申込先

社会福祉協議会

申込期限

2月5日(金)

※ただし定員になり次第締切

食品をご寄付いただきありがとうございました!

12月14日(月)～19日(土)実施しました「ご家庭に眠っている食品大募集! (フードドライブ事業)」にご協力いただきありがとうございました。

6日間の募集期間で、たくさんの食品が集まりましたので感謝とともに報告いたします。

ご寄付いただいた食品は12月21日(月)にフードバンク事業を担う認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋へ提供しました。

集まった食品

合計 629 kg (米 320 kg、米以外 309 kg)

※内訳は次の表のとおり

<提供いただいた食品の種類と点数>

| 食品の種類 | 点数 (点) |
|---------------------|--------|
| 米 | 28 |
| 缶詰 | 127 |
| インスタント食品、レトルト食品 | 109 |
| 調味料各種 | 47 |
| 乾物 (乾麺、海苔、豆など) | 145 |
| 飲料 (お茶、ジュース、コーヒーなど) | 180 |
| その他 | 84 |
| 合計 | 720 |

新型コロナウイルス感染症に伴う社会福祉協議会 (関係団体含む)の事業について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、できる限りの対策を講じながら各種事業を行います。今後の状況の変化によっては内容を変更する場合や、開催を延期または中止する場合がありますので予めご承知おきください。
※記載の内容は記事編集時点でのものです。最新の情報は、本会ホームページをご覧ください。

「社協だより 尾張あさひ」 〔広告掲載のご案内〕

「社協だより 尾張あさひ」に広告を掲載してみませんか?
令和3年度春号(4月発行)に掲載の広告を募集します。

問い合わせ先 **社会福祉協議会**
TEL 54-4540

善意のご寄付ありがとうございます

「福祉に役立ててください」と、たくさんの善意が寄せられています。皆さんにご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。

■一般寄付

9月10日～12月15日 (順不同)

| 寄付者名/寄付金額 (単位:円) | |
|-------------------------|---------|
| 尾張旭市シニアクラブ連合会女性部 様 (旭台) | 97,192 |
| 谷 美佐子 様 (旭ヶ丘町) | 10,000 |
| 匿名 (7件) | 263,344 |

■物品寄付

| 寄付者名/物品名 | |
|-----------------|--------------------|
| 石川 昌夫 様 (平子町) | 切手1,802枚 |
| たいようの会 様 (瀬戸川町) | ぞうきん53枚、布ティッシュ200枚 |
| 安藤 徹 様 (井田町) | 紙オムツ6袋 |
| 千石 智子 様 (城前町) | 紙オムツ2袋、尿取りパッド5袋 |
| 匿名 (7件) | 紙オムツ35袋、尿取りパッド5袋 |

※物品の状態によっては受け取りできない場合がありますのでご了承ください。

こんなとき、こんなお金をぜひ、 社会福祉協議会へご寄付を!!

- 福祉のために役立てようと思ったとき
- 会社や商店の開設、開店などの記念事業の一部
- お祝い事、香典の一部
- 同窓会等の残金、各種チャリティーバザー

慶弔のお返しを福祉のまちづくりに

社協では、香典返しの一部をご寄付いただいたかたに対し、礼状と封筒の作成、宛名書きをいたします。詳しくは、お問い合わせください。